

麻生区区民会議ニュース

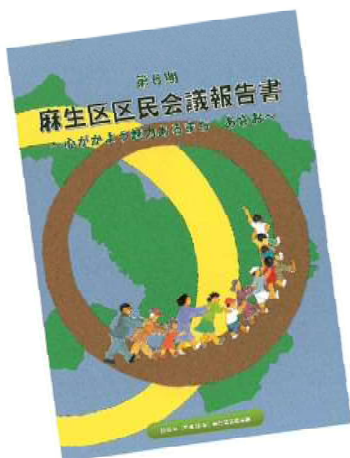
第6期 Vol.6 【提言概要版】

平成30年6月13日発行

発行／麻生区区民会議 編集／企画部会
事務局／麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



第6期区民会議の提言まとまる！



▲提出された報告書



▲植木委員長から多田区長に報告書を提出

平成28年7月にスタートした第6期麻生区区民会議は、平成30年5月15日（火）に最後となる全体会議（第7回）を開催しました。

これまでの調査審議の経過や取組、提言などを内容とする第6期麻生区区民会議報告書「心がかよう魅力あるまち あさお」を全体会議において取りまとめました。会議終了後、植木委員長から多田麻生区長に報告書を提出しました。

第6期麻生区区民会議では、第1期から第5期までの課題等を整理した上で、抽出された麻生区内の地域課題をもとに、

ワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行い、区民にとって関心が高く、特に対策が必要なテーマである「麻生区の魅力の発掘・発信」と「市民活動・絆づくり」の2つの専門部会に分かれ、審議を重ねてきました。

今号では、2年間の調査・審議結果をもとにそれぞれの部会から生まれた提言の概要等について皆様にお知らせします。



▲第6期区民会議委員

報告書は7月以降、麻生区役所企画課窓口で配布する他、区のホームページからもご覧いただけます。

麻生区区民会議

検索



1 「麻生区の魅力発掘・発信検討部会」からの提言

麻生区の魅力発掘・発信検討部会では、今後の超少子高齢社会を見据え、子どもを含めた若い世代が麻生区に愛着を持ち、これからも麻生区に住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区に住む子育て世代を対象」とし、区の魅力を伝えることについて、検討してまいりました。具体的には、「自然と農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」という麻生区の魅力について、どのように発信すれば、広く知ってもらい、関心を持ってもらえるか調査審議を行いました。

その結果、魅力を発信していくために、「子育て世代に向けた情報発信の強化」と、そのための「魅力を伝えるための情報発信媒体」が必要であると考えました。今後、麻生区の魅力発信を進めていくため、これら二つの方向性から、三つの提言を取りまとめました。

I 子育て世代に向けた情報発信の強化

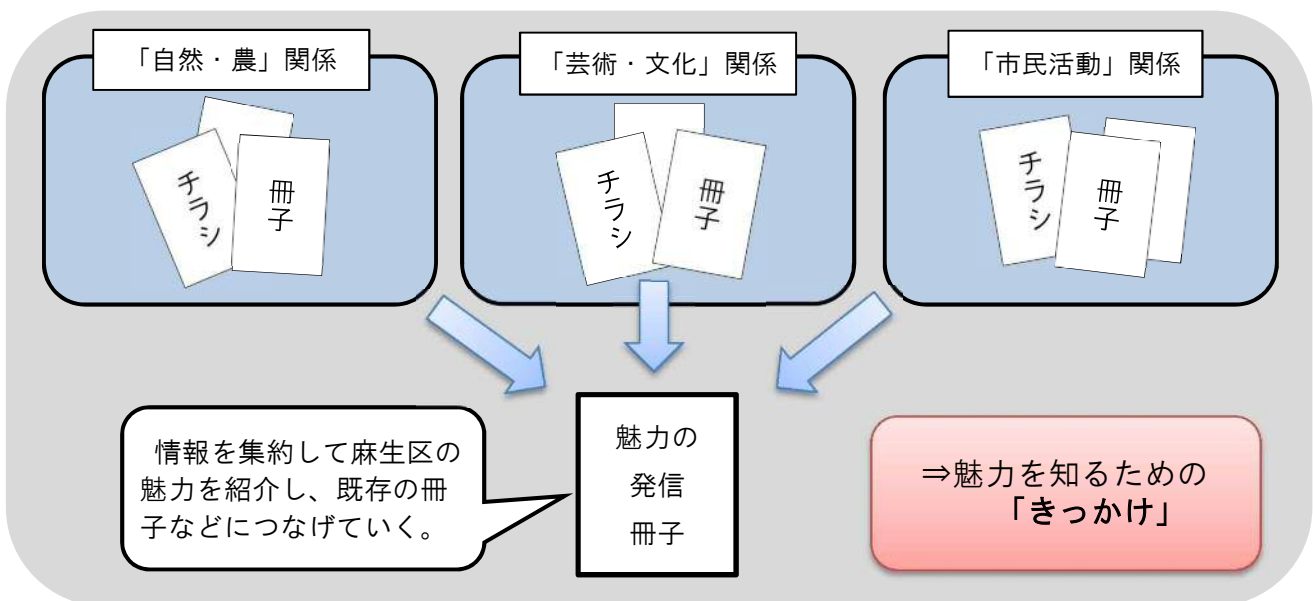
提言1 子育て世代に向けた情報発信を強化することを提案します。

- 子育て世代に、このまちに愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区の魅力」の情報発信を強化していくことが重要と考えます。そのためには、単純な情報発信だけではなく、既存の冊子やチラシ、各種団体等の魅力発信活動などと結びつけ、魅力を知ってもらうためのきっかけをつくることを目標とした情報発信が必要であると考えます。
- このために、麻生区の魅力を横断的につなげて、継続して発信する組織が必要であると考えます。

II 魅力をつなぎ合わせて発信する媒体の作成

提言2 魅力をつなぎ合わせて発信するための冊子の作成を提案します。

- 麻生区の魅力は「自然・農」「芸術・文化のまち」「市民活動が盛ん」であると考えますが、これらを別々に発信すると麻生区全体の魅力が伝わりにくいと思われるため、麻生区の魅力をつなぎ合わせて発信する媒体が必要と考えます。
- 子育て世代にヒアリング調査をしたところ、ホームページやSNS等を使用した情報発信が望ましいという人もいましたが、現時点では、紙媒体での情報発信を望む声の方が多かったことから、魅力を繋ぎ合わせて発信する媒体の一つとして、魅力を発信するための冊子の作成を提案します。



提言3 冊子の作成にあたり、編集委員会の立ち上げを提案します。

- 麻生区の魅力発信にあたっては、市民と行政との協働で実施することが有効と考えます。
- 冊子の編集にあたっては、区民会議委員の有志や、関心がある区民等を募って準備会を組織し、編集委員会を立ち上げることを提案します。

2 「市民活動・絆づくり部会」からの提言

市民活動・絆づくり部会では、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」をテーマにまだ活動に参加していない区民が地域活動に参加していくための方法を審議してきました。

具体的には、「地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する。そして、そのような活動によって社会貢献をする意識が高まり、地域づくりへの参加者が増えていく」という「担い手づくりのサイクル」をどのようにして具体化していくかについて、検討しました。

調査審議の結果、「担い手づくりのサイクル」を具体化していくためには、「地域活動へ参加するきっかけとなる機会を作ること」や「地域活動に興味・関心を持ってもらうために、実際の活動を体験できる機会を作ること」、「市民活動団体同士の連携」が必要であると考え、麻生区の市民活動を活性化し、仲間づくりや絆づくりを進めていくために、四つの提言を取りまとめました。

今後、行政等がイベントを開催するにあたっては、「担い手づくりのサイクル」の趣旨やその重要性を認識していただき、イベント参加を契機に区民が地域活動に参加や興味を持ち、地域活動が活性化していくことを望みます。

提言1 活動参加への「きっかけとなる機会づくり」につながるイベントを開催していくことを提案します。

- 第6期区民会議フォーラムは、「麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」を開催のテーマとして、審議テーマである「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」の担い手づくりのサイクルの試行として開催しましたが、300人を超える方々が来場しました。
- アンケート等による検証結果をみると、活動団体のブース等で体験してもらうことにより、地域活動への興味・関心を深め、身近に感じてもらえることがわかりました。
- このようなことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」の一つの方法として、区民と協働によるイベント等を開催することは有効であると考えます。

提言2 既存イベントに「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んで開催していくことを提案します。

- 麻生区では、区民まつり、子育てフェスタ、福祉まつりなど1年を通してたくさんのイベントが開催されていますが、新たに一つイベントを増やすことは、区民へのわかりやすさや運営者の負担などの課題があります。
- このようなことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」に関わるイベントは、新たに増やすのではなく、既存のイベントに活動団体を紹介する機会をつくるなど、「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んでもらい、開催することが必要であると考えます。

提言3 年代・世代などターゲットを絞ったイベントを開催していくことを提案します。

- 多くの区民に地域活動への興味・関心、楽しさを知ってもらうためには、年代などターゲットを絞って伝えることが効果的であることがわかりました。年代等ごとにそれぞれの対象に合った「活動参加へのきっかけとなる機会」が必要です。
- 第6期区民会議での審議においては、区民会議フォーラムを通じて、「小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代」を対象にイベントを行うことにより、その親など多世代に波及することがわかりましたので、親子で活動を体験できるようなイベント等を開催することが効果的と考えます。

提言4 市民活動団体同士の連携強化に向けて、「交流する機会等の創出」を提案します。

- 活動参加へのきっかけ作りにあたっては、これまで参加していない人が活動に参加しやすいように、市民活動団体同士が連携し、横のつながりをつくることで、それぞれの活動を発展させ、更なるコミュニティの活性化につながっていくことが考えられます。
- 横のつながりの関係を持つためには、団体が単にイベント等に参加するだけでなく、交流する機会等も設けていく必要があると考えます。

3 区民会議の課題解決への取組（提言から実践へ）

区長に報告

課題の解決に向けた取組の実践をめざし、区民会議の審議結果をまとめ、区長に報告します。

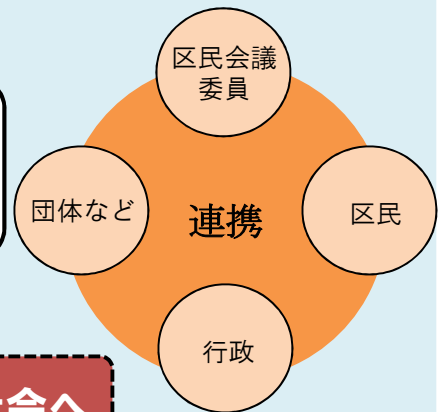
区長は審議結果を尊重して、●区民の自主的な取組 ●区民と行政の協働による取組 ●行政による取組 などを進め、課題の解決に努めます。

取組の実践

それぞれの役割と責任のもとで連携しながら、区民会議で提案された取組を地域で実践します。

課題の解決

暮らしやすい地域社会へ



— 第6期区民会議報告書に寄せて 麻生区長 多田貴栄 —

2つの部会で調査審議をいただいた「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」と「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」というテーマについては、麻生区のみならず、全国すべての自治体が直面しており、重要度の高い課題と考えています。

この提言を、区役所としてしっかりと受け止めさせていただき、区内で活動する団体などと連携しながら検討を進めてまいります。

なお、提言を進めるにあたっては、行政だけでは難しく、区民との協働が必要になりますので、まずは、多くの区民の皆さまに今回の区民会議の取り組みについて知っていただくことが何よりも重要だと思っております。

川崎市では、今後のコミュニティ施策について検討を進めており、区民会議は、今回の第6期をもって一旦休止となります。

また、地域包括ケアシステムの構築や地域防災の推進を最重要施策として位置づけ、市民サービスの最前線である区役所を中心として、全庁一丸となって取り組んでおりますが、こうした施策の実現には、土台となる地域づくりが必要です。

麻生区としても、地域での様々な課題の解決に向けて、多様な主体の連携により、市民自らが課題解決する新たなしくみについて、区民の皆さまと議論を重ねながら検討を進めてまいりたいと考えております。

最後に、2年間にわたり活発な調査審議をいただいた区民会議委員の皆さま、ご助言をいただいた参与の皆さま、また、区民会議を暖かく見守っていただいた区民の皆さまに、区を代表して心から感謝を申し上げます。2年間本当にありがとうございました。

第6期麻生区区民会議報告書（提言概要版）

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp